

単元名 『目指せ、住みよい渋川市』～身近な環境に目を向けて～（第5学年） 全30時間

単元のねらい

地域の環境についての現状や取組を調べることを通して、自分たちの地域の環境に興味をもち、環境をよくするためにできることを考え実践できるようにする。

単元構想の意図

本単元は、子供たちが自分たちが暮らす市のごみ問題について調べ、自分たちができるごみ問題ゼロの取組を考えて、地域に発信する学習です。つかむ過程では、ゲストティーチャーから話を聞いたり、地域の調査に出かけて現状を把握したりして、追究の見通しをもちます。追究する過程では、グループごとに課題を設定し、ゴールイメージ（目指す姿）をもちながら情報を収集します。そして、市の現状を整理し、自分たちができる取組を考え、地域で実践したり発信したりします。まとめる過程では、自分たちの成果を基に今後の自分の生活につなげます。探究活動を継続して行うことで、深い学びになるように、単元を構成しました。

過程

主な学習活動

1. 探究課題（学習対象）と出会い、単元のめあてを把握する。

- 校区内でごみがたくさん落ちているところを予想し、調査に出かける。
- ゲストティーチャーから話を聞き、市の現状を知るとともに、昔と今の違いや他地域との比較という視点をもつ。
- 単元のめあてをつかむ。



学校の周りのポイ捨て調査

探究課題への興味・関心

実際に自分たちの住んでいる地域に出かけていき、ポイ捨ての状況を調査することで、地域の環境やごみ問題への興味や関心を高める。

ゲストティーチャーの活用

地域のことをよく知る方から話を聞くことで、ごみ問題を身近に感じ、課題意識を高める。

問題の焦点化

様々なごみ問題を整理してグループ化することで、これから取り組む探究活動の見通しをもたせる。

ゴールイメージの共有

市のごみ問題が解決した姿を考えさせることで、ゴールの姿を共有させる。

課題に応じた情報収集

「学校の周りの道路や店などのポイ捨て状況を調査しに行く」「市役所の方に、市の取組についてインタビューする」「尾瀬宿泊体験学習を活用して、環境問題に関する取組を聞く」など、課題に応じて情報収集をさせる。

新たな課題を生み出す工夫

これまでの活動で、目指しているごみ問題ゼロが達成できたかどうかについて、自分たちで考えたゴールイメージを基にした自己評価をさせることで、足りないことや、これから取り組むべき課題に気付かせる。

学校行事で取組を発信

自分たちのアイデアで立ち上げた「ごみ問題ゼロを広めようプロジェクト」を、学校行事を活用して実施し、地域の方へ発信することで、社会との関わりを実感させる。

達成感をもたせ、今後の生活につなげる

単元全体を振り返り、自分たちの活動の成果に気付かせ、達成感をもたせるとともに、これからの生活につなげようとする意欲をもたせる。

つかむ（4）

単元のめあて

ごみ問題ゼロを実現させ、住みよい渋川市にしよう ～ごみ問題ゼロへの道～

- これまでの学習で見つけたごみ問題を整理し、これからの活動内容の見通しをもつ。

2. 単元のめあてに基づき、個人・グループ等の課題を設定し、追究する。

①課題の設定

- 市のごみ問題が解決した姿を考え、その姿を達成するために取り組むべき課題を明らかにする。



ゴールイメージの共有

②情報の収集

- グループごとに現地調査やインタビューを行う。
- 尾瀬宿泊体験学習において、環境を守る取組に関する情報を収集する。



グループ内での自己評価

③整理・分析

- 市や他地域の取組について調べたことを整理する。

④まとめ・表現

- 市と他地域の取組のよさを比較しながらまとめて、学級内で発表する。
- ごみ問題ゼロが達成できたかを自己評価する。

追究する

（25）

3. 新たな課題を見だし、継続して追究する。

①課題の設定

- 前時の自己評価を基に、ごみ問題ゼロを実現させるために何をすべきかを話し合う。



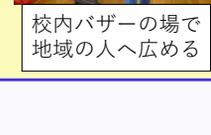
市役所での情報収集

②情報の収集

- 「ごみ問題ゼロを広めようプロジェクト」を実行するために、必要な情報を集める。

③整理・分析

- 自分たちの取組について、内容が伝わりやすいか、説得力があるかという視点で見直す。



校内バザーの場で地域の人へ広める

④まとめ・表現

- 自分たちが考えた取組を、実践したり発信したりする。

まとめる（1）

4. 単元全体の学習を振り返る

- 自分たちの取組の実践を通して学んだことをまとめる。

指導例：『目指せ、住みよい渋川市』～身近な環境に目を向けて～
(第5学年 第5時)

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○これまでの学習を振り返る。

T : 今日までの学習で、どんなことに気付いたかな？

S 1 : 南小の周りは、思ったよりごみが落ちていて、たばこのポイ捨てが多かったです。

S 2 : 地域によって、ゴミ袋が違うことが分かりました。

S 3 : 群馬県はごみの量が全国で1番多いことが分かりました。これからも全国で1番ごみの量が多いままだったら残念です。

T : そうだね、そこでみんなで考えた単元のめあては…

S : ごみ問題ゼロを実現させ、住みよい渋川市にしよう～ごみ問題ゼロへの道～

T : そのために、今日はどんなことをしていけばいいかな。

めあて ごみ問題ゼロを目指して、解決しなければならぬ課題を明らかにしよう。

中心課題を意識させ、
本時のめあてを引き出す

○中心課題を意識させた上で、本時のめあてをつかませる。

2 渋川市のごみ問題について、目指したい姿を達成するために必要なことや取り組むべきことを考える。

○渋川市のごみ問題について、グループごとに話し合う。

【ごみの量問題グループ】

S 1 : 渋川のごみの量を減らしたいね。今のままではちょっと…。

T : ごみの量が多いという問題点を解決するために、どんなことから調査をすればよいのかな？

S 1 : 渋川市は小さな市で人口も少ないに、どうしてごみの量が多いのだろう。

S 2 : 渋川市は大きいスーパーもないのにね。

S 3 : ごみの少ないところを調べてみたらよいと思う。

T : ごみの量が少ない他の市などが分かれば、渋川市のごみが少なくなるのかな？

S 1 : ごみの量が少ない他の市などが、ごみを減らすためにどんな取組をしているのかを調べればゴールに近づくんじゃないかな。



ゴールイメージの共有に向けた話し合い

○ゴールイメージを話し合い、目指す姿をグループで共有できるようにする。その姿を基に、どうすれば解決できるのか、道筋を考えさせる。

中心課題を意識させる

○「渋川市」という視点で考えているグループを紹介することで、中心課題とのつながりを意識させる。

【ポイ捨て問題グループ】

S 4 : ポイ捨てゼロの渋川市にしたいね。

S 5 : じゃあ、ポスターで呼びかけよう。

T : すぐにポスターが描けるかな？何をかいて、どこに掲示する？

S 6 : ポイ捨てをやめよう…、だったら、どんなごみがポイ捨てされているかを調べて、ポスターに絵を描いたほうが、伝わりやすいよ。

S 7 : 学校の周りに掲示すれば、学校に来た人に見てもらえると思うな。

T : ごみの量問題グループは、渋川市全体のことが考えられているよ。

S 8 : そうだ、渋川市をきれいにするのが目標だから南小の周りだけではだめじゃないかな。ポイ捨てが多い場所を調べて、そこに貼ったらいいんじゃない。

○グループごとに話し合ったことを発表する。

S 4 : ごみの量問題グループは、他の地域と比べると言っていたので、私のグループもやってみようと思いました。



発表を通じた
考えやよさの共有

互いの考えやよさを共有する

○他のグループの発表を聞き合うことで、他のグループの内容を共有したり、視点のよさに気付いたりできるようにする。特に「他の市との比較」「渋川市の今と昔」などの視点を取り入れられたグループの発表を取り上げ、よさに気付かせる。

3 本時のまとめ・振り返りをする。

○本時の学習から、学んだことやこれからにつなげていきたいことは何かを振り返り、ワークシートに記入する。

S 1 : ごみ問題ゼロを目指して、まずは、どうして渋川市はごみが多いのかを明らかにしていきたいと思います。

振り返りの工夫

○これから取り組む課題を整理した上で、次時への意欲を高める。

指導例：『目指せ、住みよい渋川市』～身近な環境に目を向けて～
(第5学年 第17時)

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○これまでの学習を振り返る。

T：ごみ問題について調べて、渋川市や他の地域のよさをまとめて発表することができましたね。たくさんのことを調べて、しっかりとまとめ、分かりやすく発表できていたので、見に来てくれた校長先生や養護の先生から、とてもよい発表でしたと言われましたね。しっかりと活動できたので、単元のめあては達成できましたか。

S：できていないかな。まだ足りないと思うな。

S：調べて発表しただけだからな。

S：ごみ問題ゼロが達成できたかを考えてみたいな。

T：では、単元のめあてがどのあたりまで進んだのか考えていきましょう。

めあて 渋川市のごみ問題がゼロになったかどうかを振り返ろう。

2 グループごとに単元全体のめあてが達成できたかを評価して、その結果を発表する。

○まず個人で、めあての達成度を何%で考えさせ、その根拠をもたせる。その後、グループごとに達成度やその根拠を話し合わせる。

S：ポイ捨てチームは、50%だと思います。どうやったらポイ捨てを減らせるかをクラスのみんなには知らせたけど、他の人には知らせていないからです。

S：分別グループでは、リサイクルの仕方などについていろいろ調べたけど、自分たちが実践していないから40%だと思う。

S：全校の児童に知らせたら40%、地域の人に知らせたら50%、市のごみの量が少なくなったら100%だと思うよ。

T：めあての達成のために、まだ必要なことがありそうだね。



ごみ問題メーターを使って、達成度を評価

3 グループごとにごみ問題ゼロにするために更に何が必要か、何をしなければならぬかを考え、全体で共有する。

○今後取り組んでいかなければならない課題を考えさせる。

S：ぼくたちがごみを減らす方法を知っているだけでは、渋川市のごみ問題を解決することはできないよね。

S：地域の人に知らせないといけないよね。

S：回覧板で地域の人に呼びかけるのはどうかな。

S：市役所の人に教えてもらったことをチラシに書くのもよいと思うよ。

S：チラシやポスターを地区の掲示板に貼ってもらうのはどうかな。

○他のグループの考えを共有させる。

S：回覧板という考えもよいな。

T：グループごとに、新しい取組が出てきたね。



ゴールイメージを基にした話し合い

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○本時の学習から学んだことや、これからにつなげていきたいことは何かを振り返り、ワークシートに記入する。

S：達成度が100%になっていないことが分かったので、地域の人にも広めていきたいと思っています。

S：ポイ捨て問題グループのポスターを掲示する考えがよいと思ったので、僕たちのグループでもできるのか、次に話し合ってみようと思いました。

児童の意欲を引き出す

○前時までの活動を振り返り、児童が頑張ってきたことや成果を賞賛することで、本時の意欲を高める。

意図を明確にして話し合わせる

○話し合いの意図を明確にすることで、考えの伝え合いではなく、根拠を基にした話し合いにさせる。また、互いの意見の根拠をしっかりと聞き合うことで、友達と自分の考えを比較したり関連させたりさせる。

子供たち自身で評価させる

○これまでの取組について、ごみ問題メーターを使って何%達成できたかを振り返らせたことで、できたことに気付かせるとともに、これからの課題に気付かせる。

ゴールを意識した活動

○「ごみ問題ゼロを実現させ、住みよい渋川市にする」という共通のゴールイメージを意識することで、主体的な話し合いになるようにする。

次時につなげる振り返り

○次時の活動の見通しとともに、他グループのよさに目を向けて振り返りをさせる。

総合的な学習の時間学習指導案

平成30年4月～平成31年2月 第5学年 指導者 青梅 麻里子

I 単元名 「目指せ、住みよい渋川市」～身近な環境に目を向けて～

II 本単元の学習

本単元は、子供たちが自分たちが暮らす渋川市のごみ問題についての現状や今の取組を調べたり、他の地域の取組などと比較したりして、自分たちができるごみ問題ゼロの取組を考えて、地域に発信する学習である。

III 目 標

地域の環境についての現状や取組を調べることを通して、自分たちの地域の環境に興味をもち、環境をよくするためにできることを考え、実践することができるようにする。

(1) 知識・技能

- ・環境を守るための必要な取組や、人々の工夫や努力が受け継がれていることが分かる。

(2) 思考力・判断力・表現力等

- ・地域の現状や取組を調査したり、収集した情報を分析したりして、自分たちができることを考えて実践しようとしている。

(3) 学びに向かう力・人間性等

- ・地域の環境に興味や課題意識をもって、調べたり実践したりしようとしている。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開 (5/30)

- ねらい 渋川市のごみ問題について目指す姿を考え、その姿を達成するために取組について話し合うことを通して、問題点を解決するために取り組んでいかなければならない課題を明らかにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分) ○自分たちが調査した現状や地域の方から聞いた問題点を問い掛ける。その際、前時までに提示した資料等を振り返るよう促す。 ○これからどんなことをしなければならぬかを問い掛ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて ごみ問題ゼロを目指して、解決しなければならぬ課題を明らかにしよう。</div>			
2 渋川市のごみ問題について、目指す姿とその姿を達成するために必要なことやしなければならぬことを考える。(30分) ○渋川市のごみ問題について、グループごとに目指す姿を考えさせる。 ○目指す姿を達成するために、何が必要か、何をしなければならぬかを話し合う場を設ける。その際、自分の考えとその根拠を説明しながら、グループでまとめたり整理したりすることができる学習プリントを用意する。 ○「調べたいこと」の中には、渋川市の現状把握や取組状況等の視点が入るよう、前時の資料を提示したり、他グループの資料を紹介したりする。 ○「取り組みたいこと」を挙げているグループには、その取組のために何が必要かを考えさせる。 ○「昔と今の比較」や「他地域との比較」という視点に気付かない場合には、「昔は、集積所に見守り隊の方がいなかったこと」「渋川市と前橋市のゴミ袋の違い」を確認させる。 ○グループごとに話し合った目指す姿と、取り組んでいかなければならぬ課題を発表し、学級で共有する場を設ける。 ○自分たちのグループの考えと、内容の違いなどを比較しながら聞くようにさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">問題点を解決するために取り組んでいかなければならぬ課題を明らかにすることができる。 ＜ワークシート (イ)＞</div>			
3 本時のまとめ・振り返りをする。(10分) ○本時の学習から、学んだことやこれからにつなげていきたいことは何かを問い掛ける。 ☆ごみの問題を解決するためにはいろいろな課題があることが分かった。渋川市の困っていることや取り組んでいることをまず調べていきたいな。			

V 本時の展開 (17/30)

- 1 ねらい これまでの学習で単元全体のめあてを達成できたかを振り返ることを通して、単元全体のめあてを達成するために、更に取り組んでいかなければならない課題に気付くことができる。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分)			
<p>○ 渋川市の取組・他の地域の取組について比較し、まとめたことについて、自分たちの活動のよさを振り返らせる。</p> <p>○ 今までの活動と、単元のめあてを比較させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">めあて 渋川市のごみ問題がゼロになったかどうかを振り返ろう。</div>			
2 グループごとに単元全体のめあてが達成できたかを評価して、その結果を発表する。(20分)			
<p>○ 個人で、学習のスタートからめあてのゴールまでの達成度を数値化 (〇%) し、その根拠を考えさせる。</p> <p>○ グループごとに達成度やその根拠を話し合わせる。</p> <p>○ 各グループの達成度と根拠を発表させる。</p> <p>○ 他のグループの考えのよさ、疑問点などを考えながら聞くようにさせる。</p>			
3 グループごとにごみ問題ゼロにするために更に何が必要か、何をしなければならないかを考え、全体で共有する。(15分)			
<p>○ 取組が十分でないところを共通理解させる。</p> <p>○ 達成度やその根拠を基に、今後の課題を考えさせる。</p> <p>○ グループで話し合った課題やその根拠を、全体で共有させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;">渋川市をごみ問題ゼロにするために、自分たちが更に取り組んでいかなければならない課題に気付くことができる。 ＜発言・ワークシート (ア)＞</div>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)			
<p>○ 本時の学習から学んだことや、これからの取組につなげていきたいことは何かを問い掛ける。</p> <p>☆ まだごみ問題がゼロになっていないので、〇〇をポスターで呼びかけていきたいです。</p> <p>☆ ごみの量を減らす取組を渋川市に広めるために、市役所の方に呼びかける方法を相談したいです。</p> <p>☆ 他のグループの発表を聞いて、「〇〇に取り組みたい」という考えがよいと思ったので、自分たちもやってみたいと思います。</p> <p>○ 今後、「誰に」「どんな方法で」という視点で考えることが必要だということに気付かせ、次時への意欲付けを図る。</p>			

指導計画 総合的な学習の時間
 第5学年 単元名 「目指せ、住みよい渋川市」～身近な環境に目を向けて～（全30時間計画）

目標	地域の環境についての現状や取組を調べることを通して、自分たちの地域の環境に興味をもち、環境をよくするためにできることを考え、実践することができるようにする。			
評価規準	(1) 知識・技能 環境を守るための必要な取組や、人々の工夫や努力が受け継がれていることが分かる。 (2) 思考力・判断力・表現力等 地域の現状や取組を調査したり、収集した情報を分析したりして、自分たちができることを考えて実践しようとしている。 (3) 学びに向かう力・人間性等 地域の環境に興味や課題意識をもって、調べたり実践したりしようとしている。			
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り（意識）	◇評価項目 〈方法・観点〉
つかむ	2	1. 探究課題（学習対象）と出会う出会い、単元のめあてを把握する。 ①探究課題と出会う。 ○校区内でゴミがたくさん落ちている場所や、汚れている場所を予想し、実際にゴミ拾いをして、環境に関する実態を把握させる。 学校の周りの環境は、どうなっているのか考えよう。	☆空き地や駐車場には、ゴミが落ちていると思い、実際に調査に行ってみるとやはり多かったです。 ☆思っていたよりも、ゴミがたくさん落ちていました。特に、たばこの吸い殻がたくさん捨てられていました。 ☆自動販売機のそばには、空き缶がポイ捨てされていました。	◇校区の環境の実態が分かり、校区内の環境に関心をもっている。 〈ワークシート(3)〉
	1	②単元のめあてを把握する。 ○ゲストティーチャーから話を聞き、渋川市のごみ問題に関する現状を知るとともに、昔と今の違い、他地域との比較という視点に気付かせる。 これからの学習について考えよう。 【ゴミ集積所見守り隊の方の話】 ・ゴミ出しにはきまりがあり、守る人が多いけれども、守らない人もいたので困っている。 ・群馬県は、一人当たりのごみの量が、全国で1番多い。渋川市もゴミの排出量が多い。 ・渋川市には、ゴミ集積所に見守り隊がいるけれども、昔はいなかった。 ・昔は、指定のゴミ袋がなかった。 【単元のめあて】 ごみ問題ゼロを実現させ、住みよい渋川市にしよう～ごみ問題ゼロへの道～	☆ルールも守らずにごみを出している人がいることが分かりました。しっかり分別してもらいたいです。 ☆渋川市は小さな市なのに、どうしてごみの量が多いのか気になりました。 ☆他の市にはないごみの見守り隊の活動は、いつから始まり、どのようなことをしているのか知りたいです。 ☆どうして市指定のゴミ袋ができたのか不思議に思いました。	◇ゲストティーチャーの話から、渋川市のごみ問題について課題意識をもっている。 〈ワークシート(3)〉
	1	③追究の見通しをもつ。 ○これまでの学習でつかんだごみ問題を整理し、これからの活動内容の見通しをもたせる。 ごみ問題を整理しよう。 【ごみ問題の整理】 ・ポイ捨て問題 ・分別問題 ・ごみの量問題	☆自分たちが住んでいる市だから、ごみ問題を解決したいと思います。 ☆どうやったらごみ問題がゼロになるのか、みんなで考えたいです。	◇活動内容の見通しをもち、課題解決に意欲的に取り組もうとしている。 〈ワークシート(3)〉
	1	2. 単元のめあてに基づき個人・グループ等の課題を設定し、追究する。 ①課題の設定 ○渋川市のごみ問題を解決するために取り組むべき課題を明らかにさせる。 ごみ問題ゼロを目指して、解決しなければならない課題を明らかにしよう。	☆どのようなところにポイ捨てが多いのか、調査隊に出かけて調べたいです。 ☆どうして見守り隊の人が必要なのか、いつから活動が始まったのか調べたいです。 ☆ごみの量が少ない地域を調べて、どのような取組をしているのか調べてみたいです。 ☆他のグループの発表を聞いて、渋川市にはごみ問題が	◇問題点を解決するために取り組んでいかなければならない課題を明らかにすることができる。 〈ワークシート(2)〉

追究する

		いろいろあることが分かりました。 ☆渋川市と他の市町村の取組を調べるのが楽しみです。	
5	②情報の収集 ○グループやエリアごとに現地調査を行った り、家庭の方などにインタビューをしたりして、渋川市の取組を調べることができる。 渋川市の取組を調べよう。 ○尾瀬に行き、環境を守るための取組についての聞き取り調査をしたり、尾瀬以外の取組を調べたりして、より多様な取組を収集することができる。 他の地域の取組を調べよう。	☆ポイ捨てが多い場所は○○や△△なので、共通点は□□だと思います。 ☆渋川市のゴミ袋に名前を書く理由は○○なので、それを解決していきたいです。 ☆○○先生が取り組んでいるリサイクルの方法がとてもよく分かりました。 ☆尾瀬で取り組んでいる「ゴミは捨てない、持ち帰る」を、渋川市でもできるとよいと思いました。 ☆よい取組を長く続けることは大切だと思いました。	◇自分が調べたいことを、適切な方法を選んで調査している。 〈ワークシート(2)〉 ◇尾瀬の環境を守るための目的や役割や取組が分かる。 〈ワークシート(1)〉
4	③整理・分析 ○渋川市や他地域の現状や取組について調べたことを整理することができる。 渋川市と他地域の取組を整理しよう。	☆○○市のごみを出すときのルールがよかったので、渋川市でも同じように取り組めたらよいなと思いました。 ☆家の人や先生たちにインタビューした取組の共通点は、○○だと分かりました。 ☆環境を守るために、たくさんの方が関わっていることが分かりました。自分たちだけでできないことは、大人の人に協力してもらいながら、取り組んでみたいと思いました。	◇渋川市と他地域の取組のよさや成果を比較したり整理したりすることができる。 〈ワークシート(2)〉
2	④まとめ・表現 ○渋川市の取組と他の地域の取組を比較してまとめ、発表会をすることができる。 渋川市と他地域の取組のよさを比較しながらまとめ、発表会をしよう	☆尾瀬の○○の取組を、渋川市でもやってみようと思いました。 ☆ごみの量を減らす取組は、たくさんあることが分かりました。自分でも取り組んでみたいですね。 ☆自分たちがゴミ拾い活動をするだけでなく、みんなに取り組んでもらう必要があると思います。	◇渋川市や他地域の取組を比較し、互いのよさに気付いたり、身近な人の実践に気付いたりすることができる。 〈ワークシート(2)〉
1	○ごみ問題ゼロが達成できたかを自分たちで評価させ、できたことに気付かせるとともに、新たな課題に気付かせる。 渋川市のごみ問題がゼロになったかどうかを振り返ろう。	☆調べたことをクラスの友達に発表できたけど、地域の人に知らせないといけないと思いました。 ☆発表したことを自分たちもまだ実践できていないので、これからやっていきたいと思いました。 ☆地域の人にどのようにごみ問題のことを知らせていくか、みんなと相談したいです。地域の人に知らせ、ごみ問題ゼロを実現させたいです。	◇渋川市をごみ問題ゼロにするために、自分たちが更に取り組んでいかなければならない課題に気付くことができる。 〈発言・ワークシート(1)〉
2	3. 新たな課題を見だし、継続して追究する。 ①課題設定 ○これまでの学習を基にごみ問題ゼロを実現させるために、地域の方へ発信する方法を考え、自分たちの取組について明らかにさせる。 「ごみ問題ゼロを広めようプロジェクト」を成功させるために、何をすればよいのか考えよう。	☆他地域の取組が分かったので、自分たちでも○○に取り組みたいです。 ☆○○と□□の場所にたくさんゴミがあったので、そこにポスターを掲示したいと思います。 ☆町をきれいにしようという呼びかけのポスターを作って、市役所に貼ってもらいたいと思います。	◇これからどんな取組をしていけばよいのか考えることができる。 〈発言・ワークシート(2)〉
4	②情報の収集 ○自分たちが考えたプロジェクトについて、具体的な内容や方法を調べたり、関係する人々にインタビューしたりすることができる。	☆家の人から○○というアドバイスをもらったので、チラシを書いてみようと思います。	◇ごみ問題ゼロを広めるために必要な情報を集めることができる。 〈発言・ワークシート(2)〉

	<p>プロジェクトを実行するために、必要な情報を集めよう。</p>	<p>☆バザーで発表するために、会場づくりや発表の仕方などを工夫していかうと思いました。</p> <p>☆ポスターを貼ってもらうために、市役所の方に事前に問い合わせをしようと思います。</p>	
2	<p>③整理・分析 ○自分たちの取組について、内容が伝わりやすいか、説得力があるか、実現可能かを検証し、取組を改善することができる。</p> <p>プロジェクトを成功させるために、取組を見直してレベルアップしよう。</p>	<p>☆渋川市はごみの量が多いことをアピールするために、チラシに根拠となるグラフを付け足そうと思います。</p> <p>☆ポスターを掲示する場所をもう一度見直して、〇〇にも掲示することにしました。</p>	<p>◇自分たちの取組を見直し、更により取組になるように検証したり話し合ったりしている。 〈発言・ワークシート(2)〉</p>
4	<p>④まとめ・表現 ○自分たちの取組を実践したり発信したりすることができる。</p> <p>「ごみ問題ゼロを広めようプロジェクト」を実行して、たくさんの人に広めよう。</p>	<p>☆地域の人に自分たちの伝えたいことを知らせることができてうれしかった。地域の人実践してくれるとよいなと思いました。</p> <p>☆地域の人真剣に私たちの話を聞いてくれてうれしかったです。</p> <p>☆ごみ問題ゼロの実現に近付いたと思います。</p>	<p>◇自分たちで考えた取組を実践している。 〈言・ワークシート(3)〉</p>
まとめ	<p>1 4. 単元全体の学習を振り返る ○自分たちの取組の実践を通して学んだことを考え、まとめることができる。</p> <p>学習を振り返り、学んだことをまとめよう。</p>	<p>☆地域の環境をも守るためには、自分たちが取り組んだ作戦が、渋川市の役に立ててうれしかったです。</p> <p>☆みんな調べたり、計画を立てたり、活動したりすることで、こんなにたくさん取組を自分たちの力で成功させることができてうれしかったです。</p> <p>☆地域の環境をよくするためには、一人一人の気持ちが大切だということが分かりました。これからも、自分たちが住んでいる地域を大切にしたいと思いました。</p>	<p>◇取組を実践したことを通して、学んだことに気付いている。 〈発言・ワークシート(1)〉</p>